

平成 25 年度国立大雪青少年交流の家第 4 回施設業務運営委員会全体会議事要旨

日時：平成 26 年 2 月 26 日（水）14:45～16:00

場所：国立大雪青少年交流の家第 1 研修室

運営委員出席者：笠井委員長，大島部会長，山形委員，鈴木委員（浜田委員代理），目黒委員，浪岡委員，瀬川部会長，村田委員，山内委員，山中部会長，地田委員，前田委員，尾崎委員，村上委員

計 14 名

欠席者：永澤委員，坂東委員，植田委員，片岡委員，西海委員，松倉委員

計 6 名

国立大雪青少年交流の家出席者：三上所長，小堀次長，佐藤事業推進室長，松浦企画指導専門職，佐々木企画指導専門職，伊藤企画指導専門職，小川事業推進専門職，谷崎事業推進室主任，平間事業企画専門職員，澤田総務係長，遠藤総務係主任，秋山管理係長

計 12 名

（●事務局 ○委員長 □委員）

●開会宣言

●開会挨拶

●会議時間・出席委員紹介，欠席委員の報告

○委員長

これから，3 部会の 25 年度の実績の概要や成果，26 年度の部会計画を全体で共有する時間とする。それぞれの部会，質問等を含めて 10 分程度としたい。

●事務局

広報部会事務局及び部会長から議題について説明

<議題> 1 平成 25 年度業務実績報告（案）・平成 26 年運営計画（案）への意見

<議題> 2 平成 25 年度の成果と課題を踏まえた平成 26 年度の行動計画（案）

●事務局

事業部会事務局及び部会長から議題について説明

<議題> 1 平成 25 年度事業部会の取組について

<議題> 2 平成 25 年度業務実績の報告（自己点検・評価表）について

<議題> 3 平成 26 年度運営計画（案）について

●事務局

管理運営部会事務局及び部会長から説明

<議題> 1 優秀な非常勤職員人材の採用

<議題> 2 50 周年記念事業の準備開始

○委員長

事務局から報告や説明があったが、質問及び確認したい点はないか。

□委員

特になし

○委員長

次に、「試行期間の成果」について説明願いたい。

●事務局

資料に基づき説明

○委員長

「試行期間の成果」、運営協議会委員の持つ権限（意見書の提出）の行使、平成 26 年度国立大雪青少年交流の家の「めざす姿」、平成 26 年度の施設業務運営委員会の「運営の基本方針」、平成 26 年度国際交流事業・体験の風の取り組み、委員任期に伴う今後の手続き等について説明があったが、質問・意見など発言いただきたい。

□委員

意見なし。

●事務局

資料2の「新しい公共」型の管理運営に向けた試行実施報告書については、試行実施平成25年1月1日から実施しており、その経費については、文部科学省の委託事業で実施している。各試行施設の報告を取りまとめ本部が、文部科学省へ提出する報告書になる。また、資料3の「平成25年度における取り組みについて～国立青少年教育施設の管理運営の在り方等について～」は、本部内に設置している国立青少年教育施設の管理運営の在り方に関する調査研究協力者会議へ報告するもので、その会議が3月4日に行われその際に使われる資料である。

○委員長

資料4の国立大雪青少年交流の家「新しい公共」型の管理運営に向けた試行的実施実績報告書は、全国の施設が参考になる報告書である。

平成26年度については、事務局からの説明どおり部会を横断した取り組みをしたい。

以上で、全体会を終了する。

●事務局

会議終了

閉会挨拶

閉会宣言